

令和4年度



職域におけるがん検診 実施状況調査（医療保険者）

この度、千葉県では職域でのがん検診の実態を把握し、受診率の向上等に資することを目的に本調査を実施することとしました。

正しいがん検診は死亡率減少効果がありますが、職域におけるがん検診は法律で義務付けられているものではないことから、実施方法等が医療保険者ごとに異なります。皆様の御協力でがん検診の受診率等の向上に繋がります。がん検診実施の有無に関わらず、貴保険者のがん検診実施状況について、ぜひともご回答の程よろしくお願いいたします。

社員の皆様の健康のために、30分お時間をください！！

令和4年 **12月2日(金) 必着**

- ご記入いただいた調査票は、**同封の逓信用封筒に入れて投函**してください。
- 封筒に切手を貼る必要はありません。**
- 回答がない場合、個別に御連絡させていただく場合がありますので、ご了承ください。**

調査対象機関

千葉県に本部を有する

- 健康保険組合
- 全国健康保険協会（協会けんぽ）
- 国民健康保険組合
- 共済組合

調査対象となるがん検診の種類

- 胃がん
- 肺がん
- 乳がん
- 大腸がん
- 子宮頸がん

皆様の御協力が**重要**です。

本調査に御協力をお願いいたします

【お問合せ先】
千葉県健康福祉部健康づくり支援課 がん対策班担当
〒260-8667
千葉県千葉市中央区市場町1丁目1番
電話：043-223-2686
E-Mail：cantaisaku@mz.pref.chiba.lg.jp

【記入上の注意】

令和3年度（2021年度）（令和3（2021）年4月1日～令和4（2022）年3月31日まで）の胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がんの実施の有無及び実施状況についてご回答ください。

【参考】がん検診についての説明および本調査における用語について

（国立がん研究センター がん情報サービスを参照しました。）

・がん検診の目的

がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させることです。

・がん検診の方法

①胃がん検診

1. 胃X線検査

バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、胃の中の粘膜を観察する検査です。

2. 胃内視鏡検査

口または鼻から、胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察する検査です。

3. ペプシノゲン検査

血液検査によってペプシノゲンの濃度を計り、胃粘膜の萎縮度を調べる検査です。

4. ヘリコバクターピロリ菌抗体検査

血液検査によって、ピロリ菌に感染しているか調べる検査です。

5. リスク検診（ABC検診）

ペプシノゲン検査とヘリコバクターピロリ菌抗体検査との組み合わせにより、胃がんの発生リスクを分類する方法です（いわゆるABC検診）。

②大腸がん検診

1. 便潜血検査

便を採取し、便に混じった血液を検出する検査です。

2. 大腸内視鏡検査

肛門から内視鏡を入れて、大腸すべてを観察する検査です。

③肺がん検診

1. 胸部X線検査

胸のエックス線撮影を行う検査です。

2. 喀痰細胞診

主に喫煙者を対象に「胸部X線検査」と併用して行います。喀痰を採取して、顕微鏡で観察する検査です。

3. 胸部CT検査

CTという検査機器で、ベッドの上に乗せた身体を少しずつ移動させながらX線を用いて検査します。

④乳がん検診

1. マンモグラフィ

乳房X線検査のことです。乳房を片方ずつプラスチックの板に挟んで撮影します。

2. 視触診

医師が目で乳房を観察してくぼみがないか、手で触れてしこりがないか等を観察します。

3. 乳房超音波（エコー）検査

超音波を使って、乳房の病変を検査する方法です。

⑤子宮頸がん検診

1. 細胞診（医師による採取）

婦人科の専門医によって、子宮頸部の細胞を採取して検査をします。

2. HPV検査

ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を調べる検査です。

問 1 貴保険者の概要についてお答えください。

医療保険者の種類 (該当する1つに○)	1 国民健康保険組合 2 全国健康保険協会 (協会けんぽ) 3 共済組合 4 組合健康保険 (健康保険組合) <単一> 5 組合健康保険 (健康保険組合) <総合> 6 組合健康保険 (健康保険組合) <連合>
------------------------	--

令和3年4月1日時点の加入事業者数、被保険者等数についてお答えください。
 (不明な場合は、現時点での数についてお答えください。)

加入事業所数		事業所				
		被保険者規模 (該当する1つに○)				
		1 10人未満	4 50~99人	7 500~999人		
		2 10人~19人	5 100~299人	8 1,000人以上		
		3 20~49人	6 300~499人			
		20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
被保険者数	男性					
	女性					
被扶養者数	男性					
	女性					

※人数(数字)をご記入ください。

加入事業所の 主たる業種 (該当すべてに○)	1 農林漁業, 鉱業 2 建設業 3 製造業 4 電気・ガス・熱供給・水道業 5 情報通信業 6 運輸業, 郵便業 7 卸売業, 小売業 8 金融業, 保険業	9 不動産業, 物品賃貸業 10 学術研究, 専門・技術サービス業 11 宿泊業, 飲食サービス業 12 生活関連サービス業, 娯楽業 13 教育, 学習支援業 14 医療, 福祉 15 複合サービス業 16 サービス業 (ほかに分類されないもの)
------------------------------	--	--

※ 業種については、日本標準産業分類(平成26年4月施行)を用いています。

問2 貴保険者のがん検診の実施状況についてお答えください。

(1) 検診を受診できる範囲 (該当すべてに○)										
1 被保険者										
2 被扶養者										
3 その他 ※具体的に記載してください。 ()										
4 がん検診は実施していない ⇒調査は終了です。 御協力ありがとうございました。										
(2) 実施状況 (各がんについて、該当するすべてに○)										
	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1 実施している										
2 実施していない										

(3) 貴保険者で実施しているがん検診の状況についてお答えください。

①実施方法 (各がんについて、該当するすべてに○)										
	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1 がん検診単独実施										
2 他の健康診断等と同時実施										
②費用負担の状況 (各がんについて、該当するすべてに○)										
	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1 受診者自己負担なし										
2 一部受診者負担										
3 全額受診者負担										

(4) 貴保険者で実施していないがん検診の状況についてお答えください。

①がん検診を実施していない理由（各がんについて、該当するすべてに○）										
	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1 法律の義務付けがない										
2 予算不足										
3 他の主体で既に実施している										
4 検診をどのように実施すべきかわからない										
5 その他 ※具体的に記載してください。 []										

②他の機会でのがん検診受診を促していますか（該当するすべてに○）	
1 市町村が実施するがん検診の受診を勧めている。	
2 個人での人間ドックの利用を勧めている	
3 その他 ※具体的に記載してください。 ()	
4 行っていない	

問3 貴保険者で実施した各がん検診の検査実施方法及び受診状況についてお答えください。(実施していないがん検診については、回答不要です。)

1 胃がん検診について

(1) 胃がん検診の検査方法をお答えください(該当全てに○)		
検査方法	正社員	正社員以外
1 胃X線検査		
2 胃内視鏡検査		
3 ペプシノゲン検査		
4 ヘリコバクターピロリ菌抗体検査		
5 リスク検診(ABC検診)		
6 その他		

(1)で「1 胃X線検査」または「2 胃内視鏡検査」に○をつけた方は、下記の設問にお答えください。

項目	正社員	正社員以外
(2) 対象者の決め方 (該当1つに○)	1 対象年齢 ① 35歳以上 ② 40歳以上 ③ 50歳以上 ④ ___歳~___歳	1 対象年齢 ① 35歳以上 ② 40歳以上 ③ 50歳以上 ④ ___歳~___歳
	2 その他の基準がある ()	2 その他の基準がある ()
(3) 検診間隔 (該当1つに○)	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()
(4) 対象者数 (令和3年4月1日~ 令和4年3月31日)	_____人	_____人
(5) 受診者数 (令和3年4月1日~ 令和4年3月31日) ※把握している場合記載し てください。	_____人	_____人
	うち50歳以上 男性_____人 女性_____人 うち40歳以上 (50歳以上の数も含む) 男性_____人 女性_____人	うち50歳以上 男性_____人 女性_____人 うち40歳以上 (50歳以上の数も含む) 男性_____人 女性_____人

2 大腸がん検診について

(1) 大腸がん検診の検査方法をお答えください (該当全てに○)		
検査方法	正社員	正社員以外
1 便潜血検査		
2 大腸内視鏡検査		
その他		

(1) で「1 便潜血検査」または「2 大腸内視鏡検査」に○をつけた方は、下記の設問にお答えください。

項目	正社員	正社員以外
(2) 対象者の決め方 (該当1つに○)	1 対象年齢 ① 35歳以上 ② 40歳以上 ③ __歳～__歳	1 対象年齢 ① 35歳以上 ② 40歳以上 ③ __歳～__歳
	2 その他の基準がある ()	2 その他の基準がある ()
(3) 検診間隔 (該当1つに○)	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()
(4) 対象者数 (令和3年4月1日～ 令和4年3月31日)	_____人	_____人
(5) 受診者数 (令和3年4月1日～ 令和4年3月31日) ※把握している場合記載し てください。	_____人	_____人
	うち40歳以上 男性_____人 女性_____人	うち40歳以上 男性_____人 女性_____人

3 肺がん検診について

(1) 肺がん検診の検査方法をお答えください (該当全てに○)		
検査方法	正社員	正社員以外
1 胸部X線検査		
2 喀痰細胞診 (喫煙指数 600 以上のみ)		
3 喀痰細胞診 (2 以外の条件)		
4 胸部CT検査		
5 その他		

(1) で「1 胸部X線検査」に○をつけた方は、下記の設問にお答えください。

項目	正社員	正社員以外
(2) 対象者の決め方 (該当1つに○)	1 対象年齢 ① 35歳以上 ② 40歳以上 ③ ___歳～___歳	1 対象年齢 ① 35歳以上 ② 40歳以上 ③ ___歳～___歳
	2 その他の基準がある ()	2 その他の基準がある ()
(3) 検診間隔 (該当1つに○)	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()
(4) 対象者数 (令和3年4月1日～ 令和4年3月31日)	_____人	_____人
(5) 受診者数 (令和3年4月1日～ 令和4年3月31日) ※把握している場合記載し てください。	_____人	_____人
	うち40歳以上 男性_____人 女性_____人	うち40歳以上 男性_____人 女性_____人

4 乳がん検診

(1) 乳がん検診の検査方法をお答えください (該当全てに○)		
検査方法	正社員	正社員以外
1 マンモグラフィ検査		
2 視触診検査		
3 乳房超音波 (エコー) 検査		
4 その他		

(1) で「1 マンモグラフィ検査」に○をつけた方は、以下の質問にお答えください。

項目	正社員	正社員以外
(2) 対象者の決め方 (該当1つに○)	1 対象年齢 ① 35歳以上 ② 40歳以上 ③ __歳～__歳	1 対象年齢 ① 35歳以上 ② 40歳以上 ③ __歳～__歳
	2 その他の基準がある ()	2 その他の基準がある ()
(3) 検診間隔 (該当1つに○)	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()
(4) 対象者数 (令和3年4月1日～ 令和4年3月31日)	____人	____人
(5) 受診者数 (令和3年4月1日～ 令和4年3月31日) ※把握している場合記載し てください。	____人	____人
	うち40歳以上 女性____人	うち40歳以上 女性____人

5 子宮頸がん検診について

(1) 子宮頸がん検診の検査方法をお答えください（該当全てに○）		
検査方法	正社員	正社員以外
1 細胞診（医師による採取）		
2 細胞診（自己採取）		
3 HPV検査（医師による採取）		
4 その他		

(1) で「1 細胞診（医師による採取）」に○をつけた方は、以下の質問にお答えください。

項目	正社員	正社員以外
(2) 対象者の決め方 (該当1つに○)	1 対象年齢 ① 20歳以上 ② 40歳以上 ③ ___歳～___歳	1 対象年齢 ① 20歳以上 ② 40歳以上 ③ ___歳～___歳
	2 その他の基準がある ()	2 その他の基準がある ()
(3) 検診間隔 (該当1つに○)	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()	1 1年に1回 2 2年に1回 3 その他 ()
(4) 対象者数 (令和3年4月1日～ 令和4年3月31日)	_____人	_____人
(5) 受診者数 (令和3年4月1日～ 令和4年3月31日) ※把握している場合記載し てください。	_____人	_____人
	うち20歳以上 女性_____人	うち20歳以上 女性_____人

問4 「職域におけるがん検診に関するマニュアル」（平成30年3月厚生労働省作成）
を知っていますか。

1 知っていて活用している（マニュアルに基づいて検診方法検討、精度管理を実施している）
2 知っているが活用はしていない
3 知らない

問5 がん検診の受診勧奨や説明及び精密検査の受診勧奨や説明についてお答えください。

(1) 貴保険者において、がん検診（一次検診）の受診を促す取組（受診勧奨）を行っていますか。（各がんについて、該当する欄に）										
	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1 行っている ⇒1つでも行っている場合は(2)へ										
2 行っていない ⇒全て行っていない場合は(4)へ										

(2) がん検診（一次検診）の受診勧奨はどのように行っていますか。（該当する全てに○）
1 ポスターや広報、イントラネットなどで、対象者全体に対して周知している。
2 対象者個人に対して通知している（事業所が実施している場合も含む）
3 直接対象者に知らせている（事業所や検診機関が実施している場合も含む）
4 その他（ ）

(3) がん検診（一次検診）の受診勧奨をする際に掲示または配布する資料に記載している項目をお答えください。（該当する全てに○）
1 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることについて
2 精密検査の方法について
3 検診の結果等は関係機関の間で共有される可能性があること
4 検診の有効性に加えて、偽陰性、偽陽性など、がん検診の限界について
5 それぞれのがんの特性（罹患、死亡の概要）について

(4) がん検診の未受診者に対して再度のお知らせ（受診勧奨）を行っていますか。
（各がんについて、該当する欄に○）

	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1 行っている										
2 行っていない										

(5) 貴保険者において要精検者に対し、検査結果通知のほかに精密検査の受診を促す取組を行っていますか。（各がんについて、該当する欄に○）

	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1 行っている ⇒ <u>1つでも行っている場合は(6)へ</u>										
2 行っていない ⇒ <u>全て行っていない場合は問6へ</u>										

(6) 要精検者への精密検査の受診勧奨はどのように行っていますか。
（該当する全てに○）

1 ポスターや広報、イントラネットなどで、対象者全体に対して周知している。
2 対象者個人に対して通知している（事業所が実施している場合も含む）
3 直接対象者に知らせている（事業所や検診機関が実施している場合も含む）
4 その他（ ）

問6 貴保険者のがん検診（一次検診）結果の把握状況についてお答えください。

(1) がん検診の個人ごとの結果について把握していますか。（該当1つに○）
1 すべての受診者の検診結果を把握している。⇒ <u>問7にお進みください。</u>
2 一部の受診者の検診結果を把握している。⇒ <u>問7にお進みください。</u>
3 把握していない。⇒ <u>(2)にお進みください。</u>

(2) がん検診の個人ごとの結果を把握していない理由を教えてください。 (該当すべてに○)	
1	検診対象者数や受診者数を把握できていないため
2	検診結果は個人情報であるため
3	把握するだけの体制・時間がない
4	希望者のみ検診を受診しており、結果把握が困難なため
5	がん検診は法定検診ではなく、結果を把握する必要がないため
6	その他 <u>※具体的に記載してください</u>
()

問7 貴保険者のがん検診において、精密検査が必要となった方（要精検者）の把握状況についてお答えください。

(1) がん検診の要精検者を把握していますか。(該当1つに○)	
1	すべての受診者について把握している⇒ <u>問8にお進みください。</u>
2	一部の受診者について把握している⇒ <u>問8にお進みください。</u>
3	把握していない⇒(2)に <u>回答してください。</u>

(2) がん検診の要精検者を把握していない理由をお答えください。 (該当すべてに○)	
1	検診結果は個人情報であるため
2	把握するだけの体制・時間がない
3	希望者のみ検診を受診しており、結果把握が困難なため
4	がん検診は法定検診ではなく、結果を把握する必要がないため
5	その他 <u>※具体的に記載してください</u>
()

問8 貴保険者の精密検査結果の把握状況についてお答えください。

(1) 精密検査結果の個人毎の結果について把握していますか。(該当1つに○)	
1	全ての受診者の検診結果を把握している⇒ <u>問9へお進みください。</u>
2	一部の受診者の検診結果を把握している⇒ <u>問9へお進みください。</u>
3	把握していない⇒(2)へ <u>お進みください。</u>

(2) 個人ごとの精密検査結果を把握していない理由を教えてください。 (該当すべてに○)	
1	精密検査対象者数や受診者数を把握できていないため
2	精密検査結果は個人情報であるため
3	把握するだけの体制・時間がない
4	希望者のみが精密検査を受診しており、結果把握が困難なため
5	がん検診は法定検診ではなく、結果を把握する必要がないため
6	その他 <u>※具体的に記載してください</u>
()

問9 貴保険者でのプロセス指標※の集計状況についてお答えください。

【プロセス指標の意味と算出方法】

プロセス指標	各指標の意味	算出方法
受診率	検診を受けるべき対象者が、実際に検診を受けたかを測る指標	受診者数/対象者数×100
要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標	要精検者数/受診者数×100
精検受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したかを測る指標	精検受診者数/要精検者数×100
精検未受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したかを測る指標	未受診者数/要精検者数×100
精検未把握率	精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたかを測る指標	未把握者数/要精検者数×100
がん発見率	その検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標	がんであった者/受診者数×100
陽性反応的中度	その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標）	がんであった者/要精検者数×100

(1) プロセス指標（受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度）の集計を行っていますか。（該当1つに○）

1 すべての指標を集計している⇒(2)へお進みください。

2 一部の指標を集計している⇒(2)へお進みください。

3 プロセス指標の集計はしていない⇒問10へお進みください。

(2) 貴事業所において、集計している指標をお答えください。（該当するものに○）

	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1 受診率 (一次検診)										
2 要精検率										
3 精検受診率										
4 がん発見率										
5 陽性反応的中度										

問10 貴事業所で実施しているがん検診の受診者を増やす取組についてお答えください。

(1) がん検診の受診者を増やす取組を実施していますか。(該当1つに○)

1 実施している ⇒ (2) へお進みください

2 実施していない ⇒ 問11へお進みください。

(2) 実施しているがん検診の受診者を増やす取組について教えてください。

問11 がん検診に関する県や市町村に対する要望についてお答えください。

(1) がん検診について、県や市町村に対する要望があれば記載してください。(自由記載)

ご回答いただいた方について、御記入をお願いします。

保険者名	
保険者所在地	
担当者名	
所属	
TEL	
MAIL	

- ※ 調査の集計結果は、千葉県のホームページ等で公表します。その際、事業所名が分かる形式での公表は行いません。
- ※ 調査票に未記入や不明な箇所があった場合、調査担当者より照会をさせていただく場合がございます。
- ※ 事業所の取組について、今後の千葉県の施策の参考とさせていただくため、後日お話を聞かせていただく場合がございます。その際は、ご協力のほどよろしくお願い致します。

質問は以上です。御協力いただき、ありがとうございました。

調査票は返信用封筒に入れていただき、12月2日（金）までに、投函してください。（切手は不要です。）